

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

- 確かな学力の育成（かしこく）
 - ・「読み、書き、算」「授業改善」等、基礎・基本の重視
 - ・学力向上推進委員会による計画的な学力（計算力）の向上
 - ・言語活動の充実

＜本年度の学力向上策＞

- 1 授業改善の推進
 - 一人1研究授業の推進
 - 2年間で1回、研究授業を実施する。【単年度実施率 50%以上】
 - さいたま市の「よい授業集計システム」を活用し、授業の改善を図る。
 - ・「よい授業集計システム」を活用し、課題や授業改善のポイントを明確にする。
 - ・授業改善の取組を実施したのち、改善状況を確認する。【改善率 1%以上】
- 2 計算力向上プロジェクトの推進
 - 児童が身に付けなければならない計算技能を、学年ごとにスモールステップとして設定し、毎月達成状況を確認する。
 - ・「基礎・基本の時間」を活用し、週3回、全学級で計算プリントを実施する。【合格者 90%以上】
 - ・合格者は、時間を記録し、短縮できるようにする。【向上率 90%以上】
- 3 辞書引き学習の推進（3年生以上）
 - ・わからない言葉等があったとき、すぐに辞書を引く確認する習慣をはぐくむ。

＜本年度の振り返り＞

- 研究授業や事前授業、学年内研究授業を含め、半数以上の教員が1回以上授業研究を行った。
- 第2回目「よい授業集計システム」の結果、すべての項目で改善が図られた。教員一人ひとりの課題は今後も手立てを明確にし、改善の取組を継続、推進していく。
- 全学年において、達成率の伸びが見られた。特に、1、2、3年生では、9割を超える達成状況となった。高学年では学習内容が多いので、取り組むプリントの精選を行っていく必要がある。
- 4、5、6年生は辞書を引く習慣が身に付いてきており、3年生も、すぐに辞書を引く習慣や知っている言葉の数は増えつつある。